

大人のおはなし会

昔ばなし、民話、絵本など、子どもの頃に一度は聞いたこと、読んだことがある話を、大人になってもう一度聞いてみましょう。大人になって聞いてみると、子どもの頃とは違った見方ができるかもしれません。

今回は、8月の終戦記念日に因んで戦争と平和に関するお話が中心です。

①詩「赤い紙の思い出」「レモンとねずみ」詩・石垣りん 童話屋より
女が歌い見送った男は帰らなかったが、あの赤紙がまた来るのでは？

②朗読「東京だより」太宰治 作 ちくま文庫
戦争の最中、産業戦士としておかみに尽くす少女たち。
その中の一人に作者は…

③紙芝居「あんずの花につつまれて」(肢体不自由児の学童疎開)
原案・渡辺美佐子 脚本・宮崎二美枝 絵・小林知子
(財)文民教育協会 子どもの文化研究所
戦時下に疎開を許されなかった東京市立光明学校
(現都立光明学園)の生徒を守り抜いた校長の物語。

④おはなし「日本のお米」同名絵本より 和久井晶代・作 梅田俊作・絵 PHP研究所
中国残留孤児の父と共に、日本に帰国した小学5年生の
女の子の作文から生まれた絵本。

⑤絵本「ぶながやのみた夢」
たいらみちこ作 紅型染め絵 紅型染工房ぶながや
沖縄の伝統的染もの〈紅型〉で、森の精ぶながやの
願いを色鮮やかに描きます。

⑥絵本「へいわってすてきだね」
安里有生・詩 長谷川義史・画 ブロンズ新社
2013年6月23日「沖縄全戦没者追悼式」で、小学校1年生の
安里有生くんが書いた詩を自分で朗読しました。



演者 おはなしボランティア 「おはなし結」
日時 令和8年7月18日(土) 10:30~11:15
会場 粕谷区民センター2階 第3会議室
定員 会場先着約20名
問合せ 粕谷図書館 電話 3305-1661

